

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 25-64
補助事業名 平成25年度 東北機械部品産業のアジア展開への指針策定等調査研究
補助事業
補助事業者名 一般財団法人国際貿易投資研究所

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本は自動車や機械の分野を中心に、東アジアにサプライチェーン築き上げてきた。このサプライチェーンを使って、日本は中間財などを東アジアに供給する主要なプレーヤーを演じてきた。しかしながら、東北地方の大震災の発生により、日本の機械部品などのサプライチェーンに大きな影響が現れたことは記憶に新しい。

また、近年における中国・ASEAN などの新興国や韓国・台湾の台頭、日本企業の輸出構造の転換、あるいは東アジア諸国間に張り巡らされた FTA 網の影響により、東アジア諸国間でのサプライチェーンの流れに大きな変化が生じている。

その中でも、貿易の流れに大きな影響を与えるメガ FTA として、1993 年発効の AFTA(ASEAN 自由貿易地域)や 2005 年に発効した ASEAN 中国 FTA(ACFTA)を挙げることができる。さらには、TPP の交渉が、2014 年の合意を目指して活発化しているし、日中韓 FTA は 2014 年内の妥結、RCEP(東アジア地域包括的経済連携)は 2015 年末の合意を掲げている。

このことから、東北地方の自動車・機械関連における東アジアでのサプライチェーンの動きを展望するために、中国、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムらの ACFTA/AFTA 加盟 5 か国における財別貿易の流れと特徴を分析している。すなわち、中間財を中心に世界主要 17 か国との輸出入の動きを把握することにより、ACFTA/AFTA の影響がサプライチェーンに現れているかどうかを探った。

そして、ACFTA/AFTA の平均関税率や関税削減率を計算し、平均関税率の低下により関税額がどれだけ節約できたのかを品目別に算出している。さらに、中国、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム 5 か国の国別・品目別の輸入単価が FTA 活用でどれだけ変化し、競争力を高めるのかも求めた。

(2) 実施内容

東北機械部品産業のアジア展開への指針策定等調査研究 (<http://www.iti.or.jp/>)

東北地方の自動車・機械関連の東アジアでのサプライチェーンの動きを展望するために、中国、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムの ACFTA/AFTA 加盟 5 か国の財別貿易を分析するため研究会を開催するとともに調査検討し、関税削減効果及び輸入単価分析を行った。

<研究会開催>

第1回研究委員会開催 平成25年9月11日

第2回研究委員会開催 平成26年2月13日



2 予想される事業実施効果

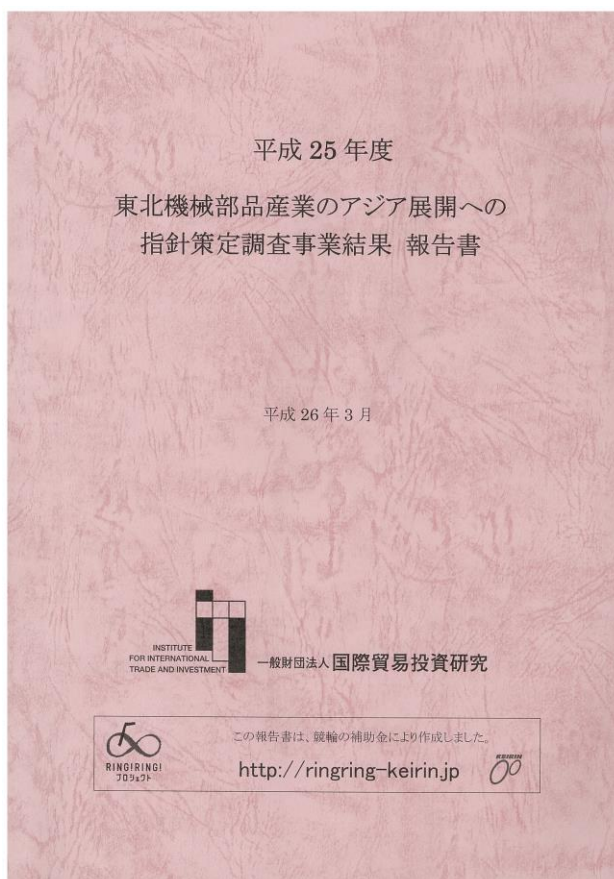
関税削減効果や輸入単価分析を東北地方の東アジアにおける機械部品産業の海外戦略に活かすことができれば、より強固なサプライチェーンの構築につながるものと思われる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

東北機械部品産業のアジア展開への指針策定調査事業結果報告

(http://www.iti.or.jp/report_download.htm)



目次

1. 東北地方の自動車産業集積とアジアビジネス	1
(一財)国際貿易投資研究所 客員研究員 東北文化学園大学 名誉教授 山崎 恭平	
2. アジア域内貿易の動向とその特徴	28
(一財)国際貿易投資研究所 研究主幹 高橋 俊樹	
3. ACFTA と AFTA における関税率の変化とその影響	66
(一財)国際貿易投資研究所 研究主幹 高橋 俊樹	
4. 2013 年における ACFTA と AFTA の関税削減効果	88
(一財)国際貿易投資研究所 研究主幹 高橋 俊樹	
5. ACFTA などの FTA を活用した場合の輸入単価への影響	101
(一財)国際貿易投資研究所 研究主幹 高橋 俊樹	
【参考】被災地東北に巨大国際プロジェクト ILC を誘致 — 21 世紀の科学を切り拓き世界と東北を繋ぐ —	125
(一財)国際貿易投資研究所 客員研究員 東北文化学園大学 名誉教授 山崎 恭平	
巻末資料	
1. ACFTA5 か国(中国、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム)の品目別輸出入額 (国連 BEC 分類:2000 年-2012 年)	140
2. 貿易マトリックス(BEC 分類・輸出 2011-2012 年)	150

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人国際貿易投資研究所 (コクサイボウエキトウシケンキュウシヨ)

住所： 〒104-0045

東京都中央区築地 1 丁目 4 番 5 号

代表者： 理事長 畠山襄 (ハタケヤマ ノボル)

担当部署： 総務部 (ソウムブ)

担当者名： 審議役 寺川光士 (テラカワ コウジ)

電話番号： 03-5148-2601

F A X : 03-5148-2677

E-mail : webmaster@iti.or.jp

URL : <http://www.iti.or.jp/>